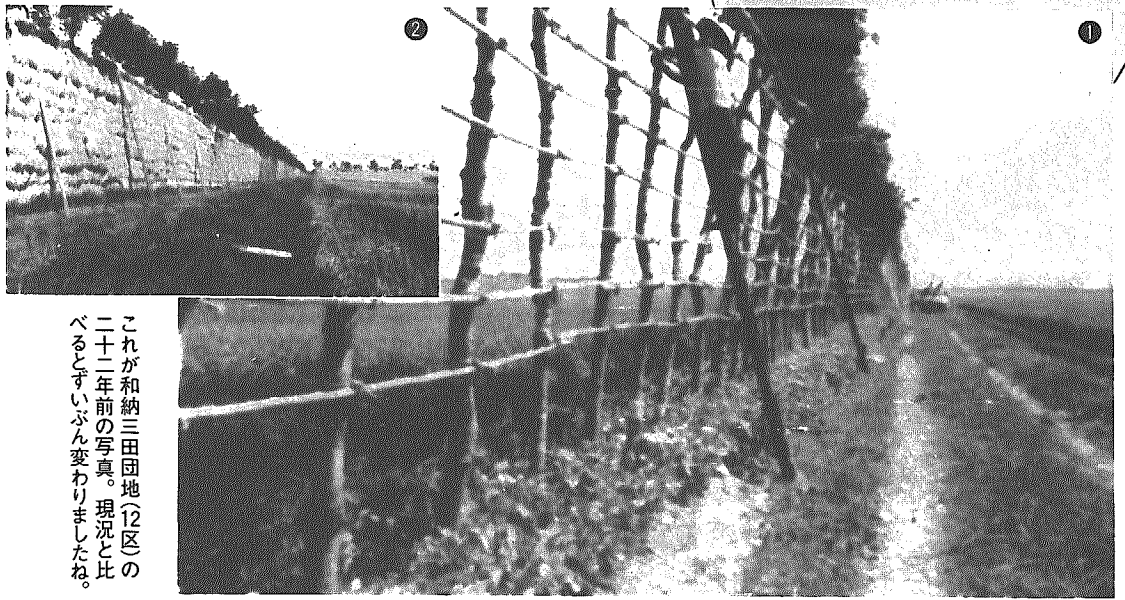


広報いわむろ秘蔵写真館

■ 29 ■

写真は語る

ハサ木の風景 (和納12区)



1枚の古びた写真が明らかにする思いがけない歴史(記録)の一コマ。みなさんの秘蔵写真を紙上公開します。お手元にあるとっておきの1枚を広報いわむろにお送りください。
●応募先=〒953-01 岩室村大字西中860 岩室村役場 総務課 企画係
☎82-4111 内線201・202・215

〔写真〕和納四区・樋口宏さん所蔵

これが和納三田団地(12区)の二十二年前の写真。現況と比べるとずいぶん変わりましたね。

さて、今月の「写真は語る」はまずクイズからスタートしましょう。1問め——この2枚の写真はどこ場所でしょうか。2問め——それでは、これはいつごろの写真でしょうか。もう、お分かりになりましたか。目印になるものが少ないので、ちょっとむづかしかったかもしれませんね。それでは解答を。

1問めの答えは写真①が現和納三田団地(12区)の一番東側を県道付近から撮ったもの。写真②は同じく三田団地の松太郎道をJ線側から撮ったものです。右側の稲穂がある部分がたぶん現和納第二保育園に当たります。2問めの答えは写真①が昭和39年8月29日、写真

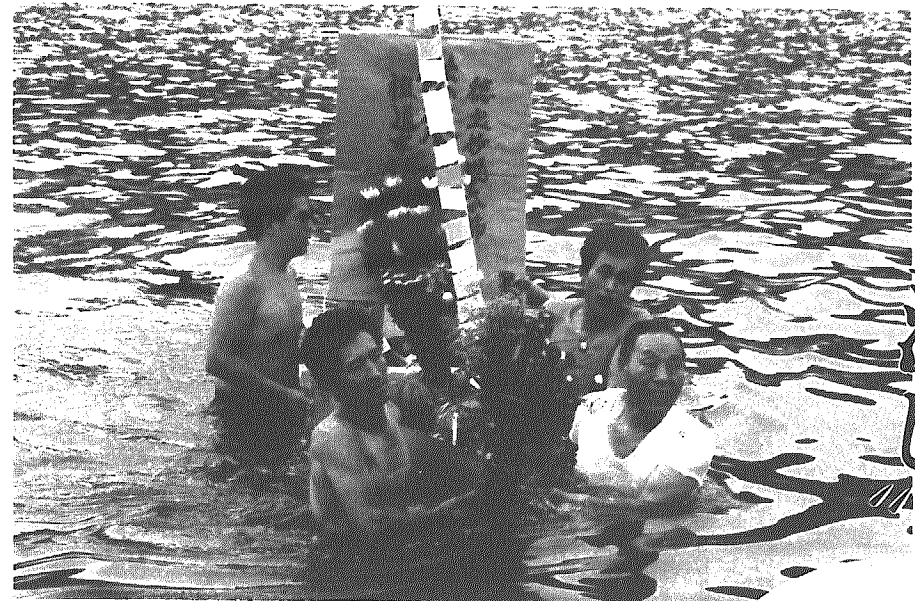
②が同じく39年の9月30日に撮られたものです。提供者の樋口さんによると、「このころがはざかけの最後の時期でしょうか。9段架けのはざで、作業は夜の9時過ぎまで行ったものです」と当時をふり返る。

このハサ木はかつて、米どころ・新潟の風物詩の一つでした。秋、稲を刈り取ると、このハサ(稲架)にかけて乾燥しました。越後独自の農用木でお盆などで帰省する都会の人は、このハサ木が並ぶ田んぼを列車の窓越しに見て感慨を深くしたといいます。今では自脱型コンバインが、これにとって代わり、文化財的存在になってしまったようですね。

今月の納税
国民健康保険税 (第2期)
納期限は 9月30日 まで

- 北野の樋口代太郎さんから「母ヨセさん」のご冥福を祈られました。
- 横曽根の成田七次さんから「妻マスさん」のご冥福を祈られました。
- 千葉県船橋市にお住まいの長谷川博さんから広報編集のために金一万円のご寄付がありました。
- 北海道釧路市にお住まいの石千恵子さんから広報編集のために金一万円のご寄付がありました。
- 神奈川県横浜市にお住まいの本間幸作さんから広報編集のために金一万円のご寄付がありました。

善意を
ありがとう



精霊流し

いまでも続く伝統の古行事
おしよろさま



秋…いい汗

季節は秋。秋といえば味覚ともう一つ、スポーツですね。村民参加の楽しいスポーツの村民体育祭が来月11日からスタートします。今年もぜひ参加してください。詳しくは公民館だよりで……。

精霊流し——間瀬では「おしよろさま」と呼ぶ。先月十六日、間瀬高屋地区に古くから続く精霊流しが行われました。旧盆の十三日に迎えた霊をこの日、精霊棚にお供えた果物などとともに手づくりの帆船に載せ、海へ——。昔は、葎で組んだ船を流したといいますが、材料の確保がむずかしいうえ、精霊船を作れる人が少なくなったため、いまではベニヤ板で作った船で霊を送っています。

「ボクは松枯れの原因といわれる「マツノザイセンチュウ」という虫です。通称では松くい虫と呼ばれていますが、松のしたたるような樹脂が大好物で、いま友達から北陸から東北地方にかけてその食料確保に活躍しているんだ。いま、この岩室村にやって来たんだけど、おいしそうな松がたくさんあって、うれしくなっちゃうな。ボクは自分では単独行動ができないので、「マツノマダラカミキリ」という昆虫にのって各地へ出張しているんだ。ボクには弱点がほとんどないけど、一番困るのがボクたちのえさとなるおいしい松を根元から切り倒されてしまうことなんだ。岩室村は対応が早くて食料と住み家の確保が大変だよ……」とマツノザイセンチュウ(松くい虫)が言ったかどうかはわかりませんが、いま岩室村もこの松くい虫による被害が出ています。そのため村では大切な森林資源を守るため、松の伐倒駆除(木の根元から切り倒す処理)を計画しています。実施は来月以降になりますが、所有者のみなさんご理解とご協力をお願いします。また山林で被害にあった松を見つけた場合は、お手数でも役場農政課(☎82-4111 内線一六二)へご連絡ください。

松の大敵をやっつける
〈松くい虫の駆除〉